

地域経済概況

No.642

2024年10月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【10月】

《景気判断》➡「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」

- 総括判断は、前回判断を据え置いた
- 個別指標においては「生産」について下方修正した

(個人消費)	➡	一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる	(設備投資)	➡	持ち直しの動きがみられる
(輸出)	➡	おおむね横ばいとなっている	(生産)	⬇	このところ横ばいとなっている
(企業収益)	➡	総じてみれば改善している	(企業の業況判断)	➡	改善している
(雇用情勢)	➡	改善の動きがみられる	(消費者物価)	➡	緩やかに上昇している

🔴…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 ⬇…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【8月】
令和2年（2020年）＝100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	99.7 (99.7)	▲3.3	91.4 (91.4)	▲4.9
出荷 (速報値)	97.5 (97.6)	▲4.1	90.2 (90.3)	▲6.5
在庫 (速報値)	102.2 (102.4)	▲0.8	103.0 (103.2)	▲2.2

(経済産業省調べ)

- 8月の季節調整済指数（前月比）は生産・出荷・在庫とも減少
- 生産で上昇した業種…輸送機械工業（除、自動車工業）、化学工業、電子部品・デバイス工業など4業種
- 生産で低下した業種…自動車工業、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業など12業種
- 製造工業生産予測調査によると、9月は前月比+2.0%の上昇、10月は同+6.1%の上昇見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【9月】

	台数（台）	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	274,378	+0.8
軽自動車販売台数	164,355	▲0.6

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

- 9月の普通自動車等販売台数は前年同月比2か月ぶりの増加、軽自動車販売台数は2か月連続の減少
- 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は438,733台（前年同月比+0.3%）で2か月ぶりの増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【9月】

(店舗調整後)

		売上高（億円）	前年同月比 (%)
主要5品目	売上高総額	4,229	+2.3
	衣料品	1,109	+0.9
	身のまわり品	734	+2.2
	雑貨	992	+6.4
	家庭用品	155	+8.3
	食料品	982	▲1.6

(日本百貨店協会調べ)

- 9月の売上高は31か月連続の増加
- 顧客別では、国内市場は前年同月比+0.6%で2か月連続の増加、インバウンドは同+21.6%で30か月連続の増加
- 地区別では、10都市が前年同月比+2.4%で36か月連続の増加、10都市以外が同+1.6%で3か月ぶりの増加

■スーパー等大型チェーン【9月】

(店舗調整後)

		販売額（億円）	前年同月比 (%)
部門別	総販売額	9,945	+1.0
	食料品	7,167	+2.6
	衣料品	444	+2.4
	住関連品	1,924	+6.1
	サービス	22	+2.1
	その他	385	▲33.6

(日本チェーンストア協会調べ)

- 総販売額は前年同月比で2か月連続の増加
- 食料品は節約志向もあり買上点数の減少は続いているが、農産品の相場高、店頭価格上昇の影響などもあり販売額は良かった
- 衣料品、住関連品の動きも良かった。

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【8月】

	戸数(戸)	前年同月比(%)
総戸数	66,819	▲5.1
利用関係別		
持家	19,597	▲6.6
貸家	28,939	▲1.4
分譲住宅	17,240	▲12.0
マンション	7,501	▲5.0
一戸建	9,578	▲17.4

(国土交通省調べ)

8月の総戸数は4か月連続の減少

前年同月比は持家は33か月連続の減少、貸家は2か月ぶりの減少、分譲住宅は4か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは2か月ぶりの減少、一戸建住宅は22か月連続の減少

地域別総戸数は首都圏(前年同月比▲6.4%)、中部圏(同▲10.5%)、近畿圏(同+4.5%)、その他地域(同▲5.7%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【9月】

	受注額(百万円)	前年同月比(%)
受注総額	125,297	▲6.5
内需	41,875	▲7.0
外需	83,422	▲6.2

(日本工作機械工業会調べ)

9月の受注総額は2か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を44か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【9月】

	倒産件数	負債総額
	807件	1,327億円
前月比	+11.6%	+30.9%
前年同月比	+12.0%	▲80.8%

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は2か月ぶりに前年同月を上回った

負債総額は2か月連続で前年同月を下回った

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【10月】

《総括判断》➡「持ち直している」

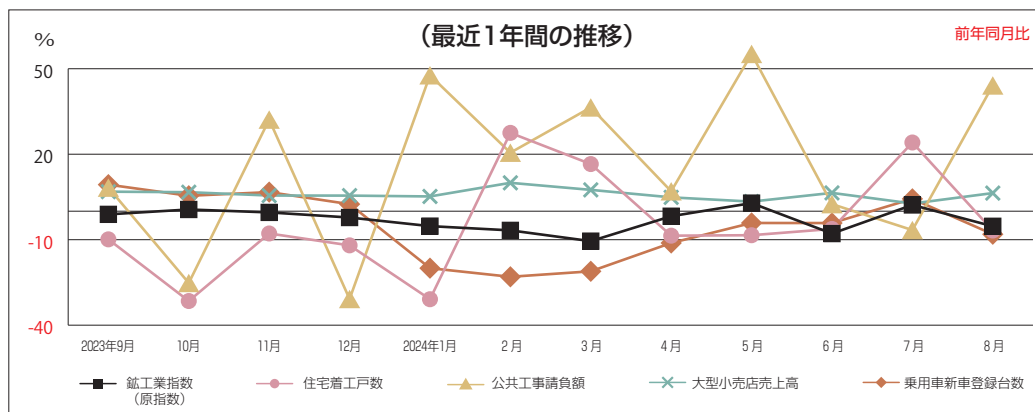
「総括判断」は前回を据え置いた

個別の判断はすべてにおいて据え置いた

(設備投資) ➡ 堅調に推移している	(個人消費) ➡ 緩やかに増加している
(雇用情勢) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている	(公共投資) ➡ 増勢が一服している
(生産) ➡ 持ち直しつつある	(雇用・所得) ➡ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 🔵…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移

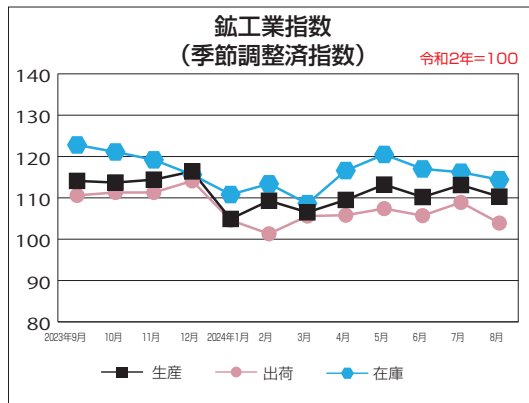


県内の産業動向

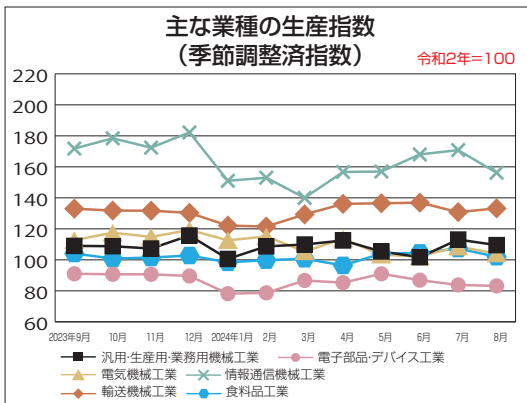
製造業

■鉱工業指数（速報）【8月】 令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比（%）	指数	前年同月比（%）
生産 （前月確報）	110.3 (113.1)	▲2.5 (+2.6)	98.5 (116.6)	▲5.3 (+2.2)
出荷 （前月確報）	103.9 (108.9)	▲4.6 (+3.0)	95.2 (113.3)	▲6.6 +3.2
在庫 （前月確報）	114.4 (116.2)	▲1.5 (▲0.7)	113.1 (114.7)	▲6.1 (▲6.5)



前月比（季節調整済指数）で、生産は2か月ぶりの減少、出荷は2か月ぶりの減少、在庫は3か月連続の低下
 前年同月比（原指数）で、生産は2か月ぶりの減少、出荷は2か月ぶりの減少、在庫は9か月連続の低下
 生産で上昇した業種…窯業・土石製品工業、輸送機械工業、プラスチック製品工業ほか2業種
 生産で低下した業種…情報通信機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、食料品工業ほか9業種



（経済産業省、長野県企画振興部調べ）

建設業

■建築着工統計調査報告【8月】

		戸数（戸）	前年同月比（%）
総戸数		1,030	▲6.8
利用関係別	持家	559	▲7.0
	貸家	299	▲14.1
	給与	2	皆増
	分譲	170	+9.0

（長野県建設部調べ）

住宅着工戸数全体は2か月ぶりに前年同月を下回った
 利用関係別では、持家は6か月連続の減少、貸家は2か月ぶりの減少、分譲は2か月連続の増加

■公共工事動向【9月】

	件数（件）	請負金額（百万円）
国	20	1,102
独立行政法人	5	470
県	103	2,954
市町村	180	7,889
地方公社	8	244
その他	7	746
合計	323	13,408

（東日本建設業保証調べ）

9月の請負件数は前年同月比+1件、請負金額は同▲3.9%であった。また、請負金額の発注者別では独立行政法人等（同+380.8%）、市町村（同+31.0%）、地方公社（同+3.8%）で前年同月を上回った一方、国（前年同月比▲60.8%）、県（同▲33.1%）で前年同月を下回った。

小売業

■自動車登録台数【9月】

	台数（台）	前年同月比（%）
普通自動車登録台数	4,837	+2.9
軽自動車登録台数	4,385	▲0.7
全体（二輪車を除く）	9,222	+1.2
自動車保有台数	1,897,444	+0.1

（北陸信越運輸局長野運輸支局調べ）

登録車は2か月ぶりに増加、軽自動車は2か月連続で減少、全体では2か月ぶりに増加
 9月末時点における自動車保有台数内訳…登録車947,599台（前年同月比▲0.2%）、軽自動車910,801台（同+0.3%）、二輪車39,044台（同+2.2%）

■大型小売売上高【8月】

		売上高（百万円）	前年同月比（%）
総売上高		25,976	+6.4
内訳	食料品	22,829	+7.0
	衣料品	881	▲4.0
	雑貨・その他	2,265	+4.8

（長野経済研究所調べ）

総売上高は35か月連続で前年同月を上回った
 食料品は、生鮮食品のほか、飲料や氷菓などの盛夏商材を中心に堅調だったほか販売価格の上昇もあり、同+7.0%となった。衣料品は、季節衣料を中心に販売が低調で、同▲4.0%だった。雑貨・その他は、化粧品や日用品が堅調で、同+4.8%となった。

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【8月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.30倍	▲0.01pt
全国	1.23倍	▲0.01pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

全国平均を0.07pt 上回り、全国順位は19位と堅調な推移が続く
有効求人数（季節調整値）は42,623人と前月比▲1.3%減少し、有効求職者数（同）は32,769人と同▲0.3%の減少
総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

■新規求人数【8月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	13,982人	▲10.0%

(長野労働局調べ)

前年同月比で増加した業種…情報通信業、教育・学習支援業など
前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業など

■新規求職者数【8月】 (実数値)

	新規求職者数	前年同月比
全数	5,576人	▲11.3%

(長野労働局調べ)

全数のうち常用は3,489人（前年同月比▲12.1%）、パートは2,072人（同▲9.9%）

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【9月】

	倒産件数	負債総額
	6件	378百万円
前月比	+0.0%	▲47.2%
前年同月比	▲14.2%	▲39.8%

(東京商工リサーチ調べ)

地域別では北信が1件、中信が2件、南信が3件、東信が0件
業種別では建設業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、汎・生産・業務用機械器具製造業、飲食料点小売業が1件
新型コロナウイルス関連倒産は2件

長野経済研究所から研修・セミナーのご案内

◆講演会◆（入場無料、要事前申し込み、会場・オンライン選択制）

テーマ	講師	開催日時	開催場所
2025年日本経済の展望	株式会社 第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミスト 永濱 利廣 氏	2025年1月14日(火) 14:00～15:30	松本市 ホテルブエナビスタ

◆実務セミナー◆

セミナー名	講師	開催日時	開催場所	受講料（円・税込）
チームビルディング 成果を上げ続けるチームの作り方	And Forward 瀬越 敏弘 氏	12月4日(水) 10:00～16:30	松本市 ホテルブエナビスタ	マネジメント会員 19,800 一般会員 23,100
セルフリーダーシップセミナー	ビジネスプラスサポート 麻野 由佳 氏	12月9日(月) 10:00～16:30	長野市 八十二別館	会員以外 28,600

◆研修教室◆

研修名	開催日時	開催場所	受講料（円・税込）
中堅社員	12月3日(火) 10:00～16:30	長野市 八十二別館	マネジメント会員 7,700 一般会員 9,900 会員以外 16,500
営業の基本と実務	12月6日(金) 10:00～16:30		
チームリーダー	12月13日(金) 10:00～16:30	松本市 松本商工会館	マネジメント会員 7,700 一般会員 9,900 会員以外 16,500
	1月15日(水) 10:00～16:30	長野市 八十二別館	

※受講料には、昼食代、テキスト代を含みます

■申込方法：長野経済研究所ホームページ（<https://www.neri.or.jp>）よりお申し込みください

●お問合せ 一般財団法人 長野経済研究所 〒380-0936 長野市岡田178-13 八十二別館
TEL：026-224-0502／0501 FAX：026-224-6233 URL：https://www.neri.or.jp